関東財務局、長野財務事務所

財務状況把握ヒアリングを契機とした財務局と地方公共団体の連携強化

埼玉県小鹿野町および長野県佐久穂町を対象にキャッシュフローや類似自治体との比較でみた両町の財政の現状、更に公共施設の更新などの課題解決に向けた合同勉強会を実施。

概要

○両町に財務状況把握ヒアリングを実施し、老朽化した施設の更新に係る財源確保等の課題を把握。

○両町から、町職員全員が財務状況及び課題を学習する機会を得たいとの要望があり、合同勉強会を開催。

○キャッシュフローや類似自治体との比較でみた財務状況や課題を説明したほか、課題解決に向け、公共施設更新に際してのPPP/PFI※の活用について説明。
（※PPP：官民連携事業、PFI：民間資金等活用事業）

○融資課の通常業務である財務状況把握ヒアリングを契機に地域貢献を意識した取組であり、財務局が有するノウハウ・ネットワーク、ハブ機能を発揮して実現。

「小鹿野町・佐久穂町合同勉強会」

開催日	令和4年11月29日（火）
場　所	さいたま新都心合同庁舎からWEB配信
講　師	関東財務局及び㈱民間資金等活用事業推進機構

取組の成果

【合同勉強会の模様】

（小鹿野町）

（佐久穂町）

○両町長のほか財政、企画、産業振興や保健福祉などの管理者や担当職員約40名が参加。

○両町からは「町の強みや、弱みを再確認する良い機会となった」「具体的な事業の実施にあたりPFI手法の導入を積極的に検討していく」「県外の自治体と情報共有できる機会は今まで無く、両町の間で交流を進めたい」との声。

○財政の現状や事業実施にあたっての民間活用への意識の醸成、県外の自治体間の交流創出などに貢献。

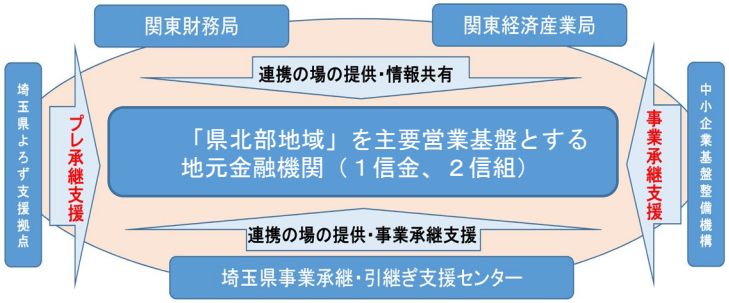
地域の関係者と連携した事業者支援の取組

埼玉県北部地域の実情を踏まえ、地元金融機関等とセミナーを開催。また、県内の企業経営者等から意見を伺う場を設け、その意見を事業者支援の取組にフィードバックし活用。

概要

○関東財務局は、埼玉県の北部地域（熊谷市等）では「高齢の中小・零細事業者が多く存在し、事業承継の取組は喫緊の課題」との声を把握。県北部地域経済の維持・発展を見据えた取組として、支援機関等との共催により、「事業承継を視野に入れた地元金融機関による事業者支援」をテーマに事業者支援セミナーを開催。

＜「事業者支援セミナー～埼玉県北部地域セッション～」のコンセプト＞



○関東財務局と関東経済産業局が「さいたま活性化サロン」※を初めて共催。「ポストコロナにおける事業者支援の在り方セミナー」と題して、両局の事業者支援に関する各取組を紹介した後、金融機関・支援機関を交えた意見交換を実施。

※関東財務局が地域のオピニオン・リーダーである企業経営者等と地域経済の中長期的な課題について意見交換を行うプラットフォームとして平成26年より開催しており、関東財務局(埼玉県)のほか、各財務事務所においても地域のニーズを踏まえ、時宜にかなったテーマで随時開催。

取組の成果

○事業者支援セミナーの開催を通じ、北部地域の実務担当者（地元金融機関・支援機関）間の「顔の見える関係性」を強化し、知見・ノウハウを共有しあう場を創出。
セミナーの的（北部地域）を定めたことで、関係者による意見交換が活発化し、金融機関からは「関係者が足並みを揃え認識共有する機会となった」「支援機関のアドバイスを交えた意見交換は支援力向上に繋がる」等の声。

○今回の「さいたま活性化サロン」は、県内の企業経営者の方々から金融機関等に期待する役割や行政への要望等について、直接ご意見を伺う機会と位置付け。
サロンメンバーからの意見は、事業者支援セミナーを含む関東財務局の事業者支援の取組状況の評価として、今後の取組にフィードバックし、活用。

【事業者支援セミナー（熊谷市）】

【さいたま活性化サロン（さいたま市）】

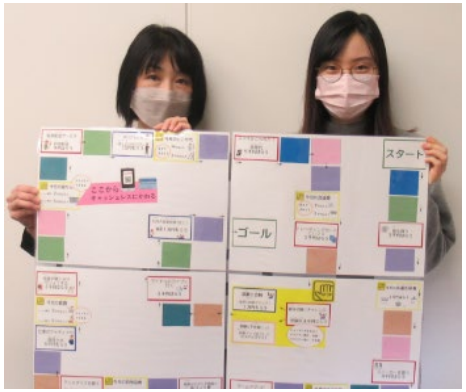
関東財務局東京財務事務所

金融教育が届きにくい生徒への金融包摂を踏まえたアプローチ

財務局が地域のために果たすべき役割として、不登校の生徒、特別支援学級や聴覚障害教育部門の生徒など金融教育が届きにくい層に教育を受ける機会を積極的に提供。

概要

○不登校の生徒(保護者)、特別支援学級、聴覚障害教育部門、通信制及び定時制の生徒には金融教育が届きにくく、教員から「教え方が分からない」との声。
⇒**金融包摂の観点から、地域の財務局が、教育を受ける機会を積極的に提供**することが重要。



○すごろくを活用した教材や、文字を大きくしたり表現を分かりやすくした資料を作成するなど、工夫して実施。多重債務相談員も講座を企画し、講師を担当。

取組の成果

○不登校の生徒を支援する認定NPO法人での取組は、生徒本人や**全国の保護者を対象とした金融教育講座の実施**など、更なる取組へと展開。

【参加者の声】

中学生「すごろくゲームがとても楽しかった」「一人暮らしは必要な出費が多いことがわかったので気をつけたい」

高校生「債券、リボ払い、NISAなど、耳にはするが意味の分からなかった単語を少し理解できた」「貯蓄への意識も高めていきたい」「資産運用の話が面白かった」

島しょ部の課題解決に向けた取組

東京財務事務所が、島しょ部（八丈町）の関係者と有識者をつなぎ、課題解決に向けた「東京活性化サロンin八丈島」を開催。

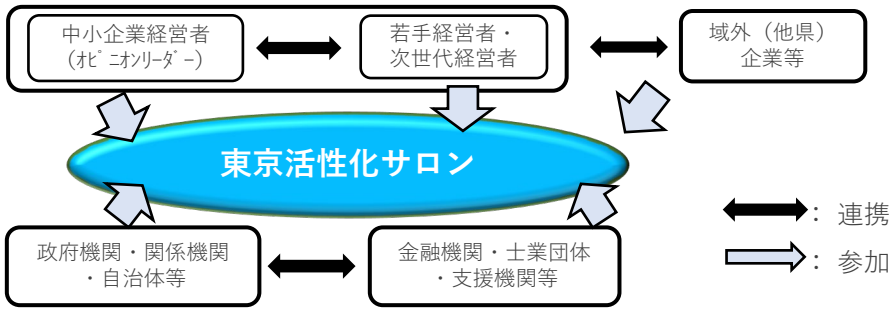
概要

○令和元年12月に八丈町役場や八丈島で地域活性化に取り組む関係者を訪問したことが発端。

○その後、八丈島では、主要産業の観光業が新型コロナウイルス感染症の影響で大きなダメージを受けたことを把握。

○八丈島の地域課題解決に向けて、令和4年4月に「東京活性化サロンin八丈島」※を開催(八丈町商工会との共催)。

※東京活性化サロン
地域経済を活性化することを目的とした、中小企業・金融機関・士業団体・支援機関・自治体・政府関係機関等の異業種交流を支援するプラットフォーム。



取組の成果

○当サロンでは、地元事業者が地域課題を説明し、これを受けた講演を有識者が実施。地域の関係者と有識者をつなぐことで、地域課題の解決に貢献。

○参加者の声
・地域、離島が抱える課題が改めて理解できた。
・八丈島が持つ資源の多彩さと抱える課題を通じて、事業者、金融機関等の支援機関の取組の理解を深めることができた。

サロンの様子

○令和4年12月に八丈島を訪問。地域の関係者と有識者との間で、**課題解決に向けた取組が進んでいることを確認。引き続き地域のつなぎ役として課題解決をサポート。**

八丈島の風景